



*Libero Canto*

第7回

声楽名曲コンサート

*Libero Canto* の会

～長谷川由紀さんを偲んで～

2016.11/27(日) 19:00

横浜・戸塚 さくらプラザホール



## ご挨拶



故 長谷川由紀さん

皆さま本日は第7回 LiberoCantoの会のコンサートにご来場下さいまして、誠にありがとうございます。

この会の立ち上げから前回まで企画、事務、ピアノ伴奏で大活躍して会を支えて来てくれた私の妻の長谷川由紀さんが、思いがけなく病に臥し、今年の1月に逝去いたしました。

悲しみに沈む私を見て会員の皆さんが、追悼のコンサートを開きましょうと言って勇気づけて下さったのが原動力となり、本夕開催の運びとなりました。

長谷川由紀さんは湘南白百合学園高校から東京藝大声楽科に進み、ウィーン留学時には当地の教授に賞賛された優れたメゾソプラフです。またピアノ伴奏も能くして声楽や合唱の伴奏にも成果を上げました。私にとりましてはかけがえのない最高のピアノ伴奏者でした。思えば東京五輪の頃、東京芸大の柴田睦陸先生のレッスン室で、下級生だった由紀さんと初めて出会って以来、苦楽を共にして来た半世紀は長かったようで、あっという間の幸福な月日でありました。

天上へ行った由紀さんの魂が安らかでありますよう祈りつつ、会員の皆さんとご一緒に、音楽のもつ大きな力を信じて 前進して行きたいと思っています。

どうぞ最後までごゆっくりとお楽しみ下さい。

Libero Canto Japan 長谷川 敏 (二期会会員、茨城大学名誉教授)



## Libero Canto について

20世紀半ば、ウィーンのラヨシュ・サモシ教授によって開発された歌唱法、教授法のこと「自由なる歌唱」という意味です。そしてこの歌唱法はイタリア・ローマにて「我々が既に忘れてしまった正当的ベルカント唱法である」と評価されました。昨年逝去されたエドウィン・サモシ教授がこれを継承してウィーン、ニューヨークを中心に活動し発展させていました。Libero Canto Japanの長谷川は1973年より両教授の薫陶を受け、日本人ではただ一人の認定された後継者としてこの歌唱法の伝播と発展に努めています。

Libero Cantoでは先ず各人の持つ歌唱時の悪い癖を取り除きます。そしてごく自然に楽な息のエネルギーを流して歌っていきます。クラシックの声楽にありがちな、構える、支える、保持する、気張る、響きや声を狙うといったことをやりません。力づくでなく、軽く明るい喉のトレーニングをして、身体本来のもつ自由な働きを引き出すことによって、その人の本当の声のクオリティーと音楽とを正しく出していくものです。この方法は自然であるがために、自分のものにするにはかなりの忍耐の期間が必要です。しかし熟達すれば優美で暖かく、音楽性に満ちた歌唱芸術が実現します。

Libero Canto Japan事務局

E-Mail [b.i.z.en66@gmail.com](mailto:b.i.z.en66@gmail.com)

Tel 0466・29・1371